

NEXTSCAPE



MR開発・技術支援 サービスについて

Mixed
Reality
Microsoft
Partner



IS 524649 / ISO 27001



FS 759264 / ISO 9001

MR開発の背景と課題

MR開発に必要とされるスキルセット



複合的なスキルを要求されるが、市場には開発経験/能力のあるエンジニアが少ない
スキルセットを分割すると、必要以上にチームが拡大してしまう

お客様の主な課題

- お客様自身（内製）でのMR開発は難易度が高い
- これまでMR開発の経験が少ない
- 以前開発したアプリでは十分な成果が出なかったなど



当社の強みや経験

- お客様からのインタビューをもとに、**高速にプロトタイプ開発が可能**
- お客様の開発支援など、**ご要望に応じた柔軟な取り組み**が特徴
- 他企業が制作したアプリを引き継いだ**リニューアル開発での成功事例多数**

サービス概要

技術検証 (PoC)



技術的な実現有無を検証する取り組み



200~400万円 (概算)

大規模システム開発



HoloLens 2などのMR技術に、クラウドを組み合わせた大規模な開発



2,000万円~ (概算)

内製化に向けた技術支援



お客様の開発スキル向上や内製化に向けたスキルトランスファーを実施



300万円~ (概算)

わたしたちの強み

クラウドとの連携

MRに加え、クラウド（Azure）連携に関する事例や知見多数



MSアワードの受賞

2年連続でMR関連の
アワードを受賞



多くのデバイス対応

VR/ARに加え、HoloLens以外の
MRデバイスも対応可



技術調査による ソリューション提案

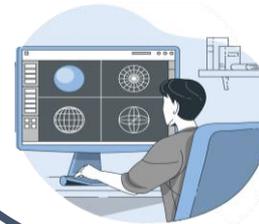
3Dアイトラッキングや
空間スキャン、工場見学支援など



[技術要素を弊社ブログに投稿
\(リンク有\)](#)

マルチスキルを 有したメンバー

Unity、Azure、
3Dモデリングなど経験豊富



熊本大学医学部保健学科様/2021年度

MR

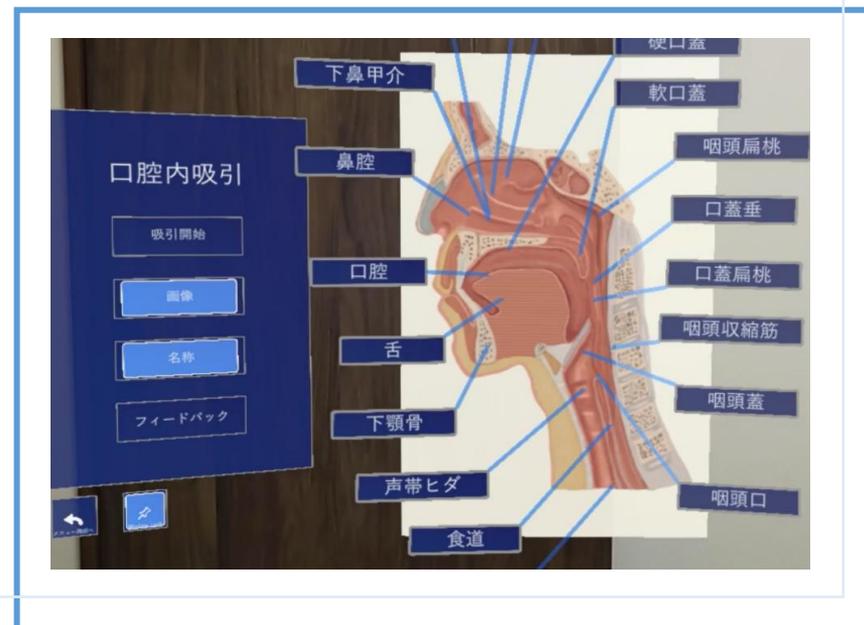


- コロナ禍で学外実習や対面で行う演習が制限を受け、学生の実践力習得に大きな影響が発生
- MR技術を応用した、**体験型技術習得アプリケーションを開発**
- 本取り組みを受け、**2022年のMicrosoft Partner of the Yearを受賞**

神経系の3Dモデルを腕に重ねて表示



吸引系の作業前に参考画像を表示



国交省港湾局、港湾荷役システム協会/2019～21年度

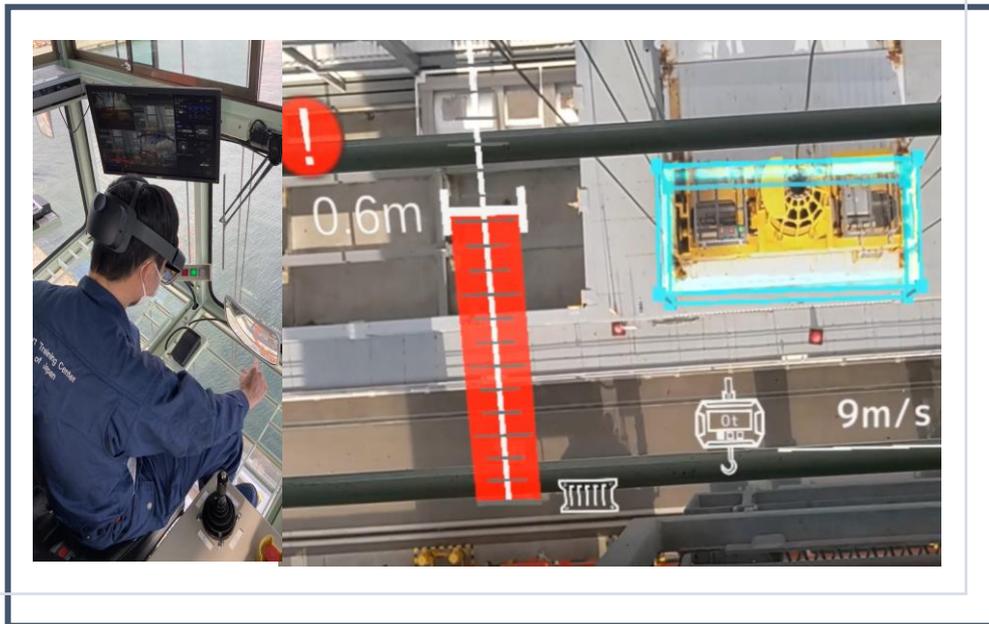
MR

VR

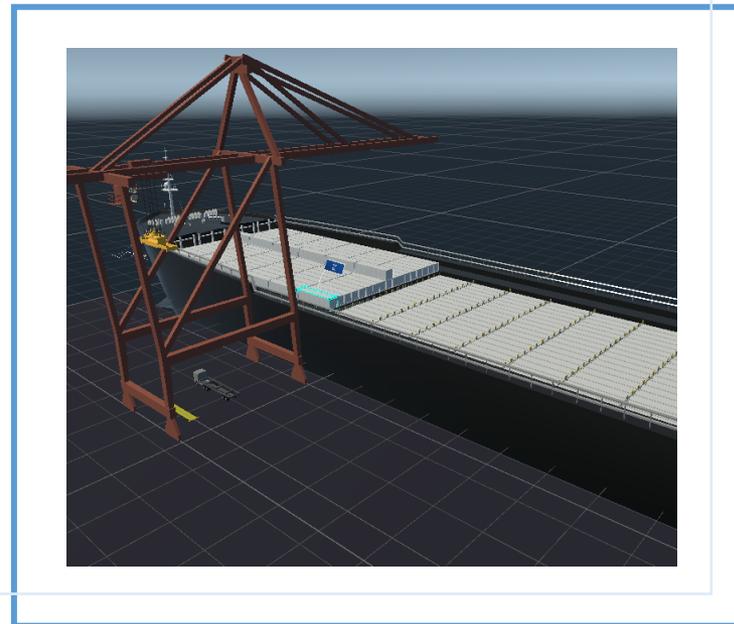


- ガントリークレーン技能者への操作支援を目的に、MR技術を活用したアプリを開発
- ガントリークレーンの操作情報をHoloLens 2へ即座に連携し、**荷役支援機能を現実空間に重ねて表示することが可能**

荷役対象コンテナへの直感的な指示なども可能



VRデバイスで操作訓練向けアプリを開発



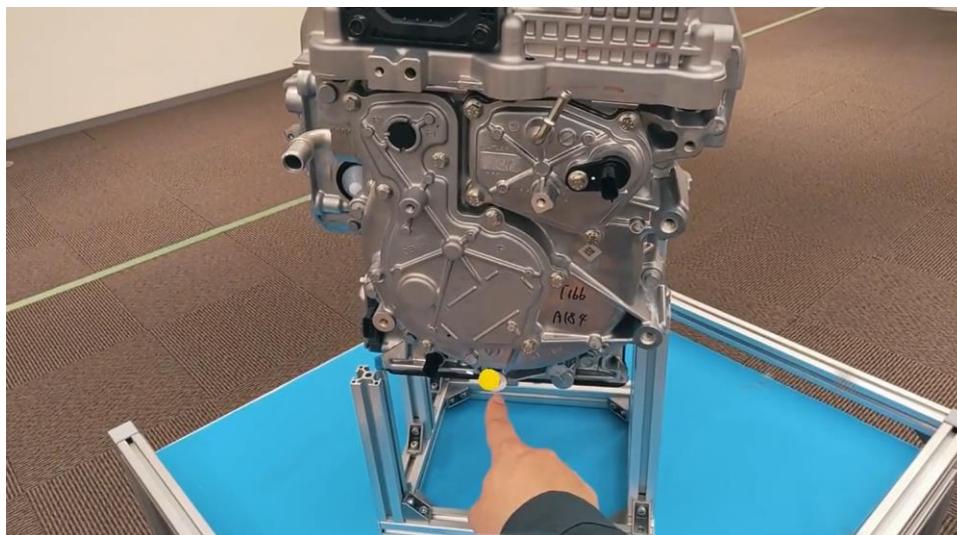
日産自動車・ジャトコ様/2021年度

MR



- 目視作業中にどこを視ているかを保存することで、録画データに視点ポイントを表示
- HoloLens 2の**アイトラッキングセンサー**を作業者の習熟度や集中度チェックに利用

日産ストーリーズ GLOBALでの紹介あり (リンク有)



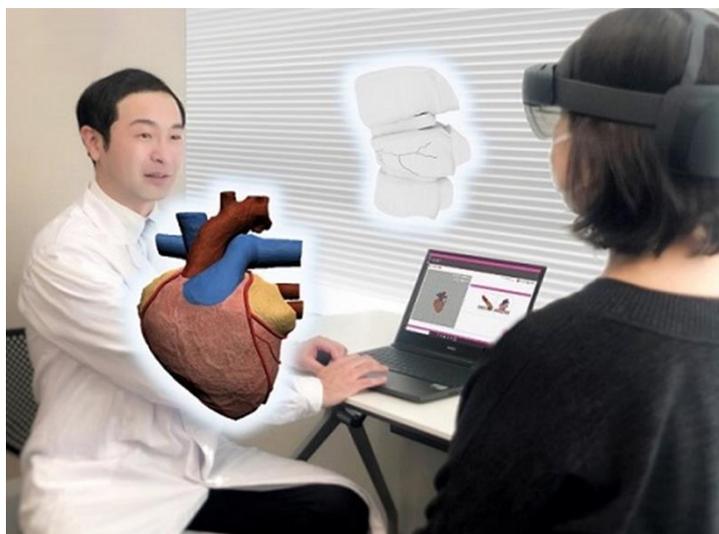
アステラス製薬様/2020年～

MR

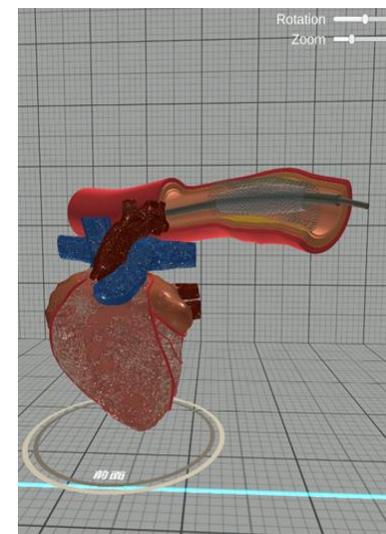
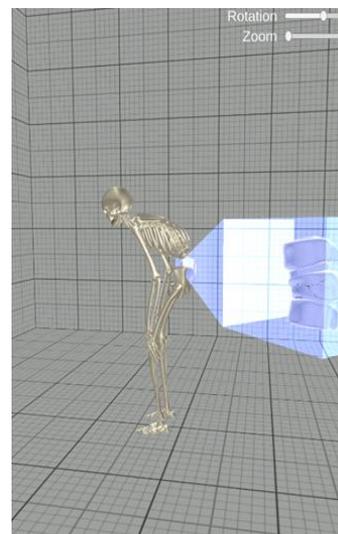


- 診察時に病態を可視化できる患者向けのコンテンツを作成
- 自分ゴト化による効果的なコミュニケーション実現に向け、今後は対象疾患の拡大や医療機関への全国展開を予定
- 本取り組みを受け、**2021年のMicrosoft Partner of the Yearを受賞**

コンテンツ体験で病態を直感的に理解可能



人体モデルや臓器の3Dモデルは当社で作成

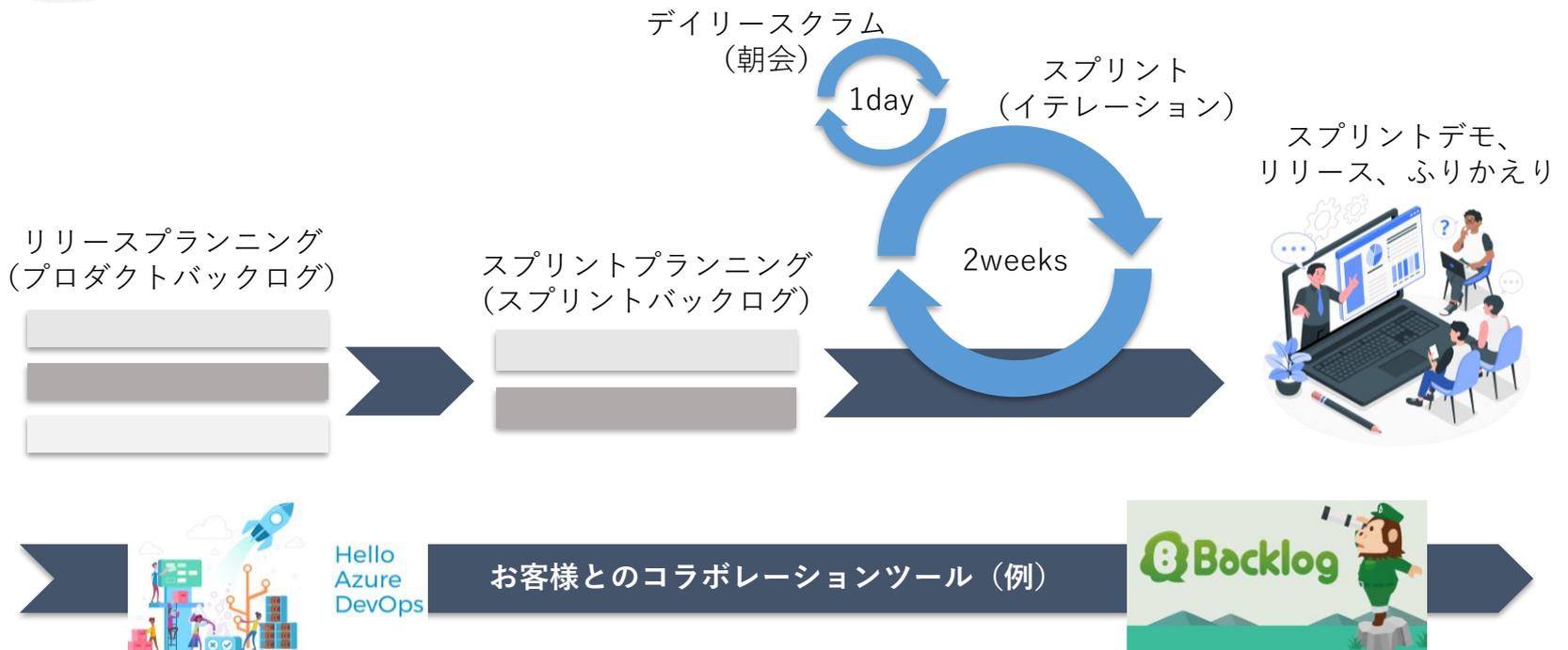


開発手法

アジャイル/スクラム開発の流れ



- スクラムはチームだけでなく、**お客様とのコラボレーション**に重点を置いた手法
- 開発サイクルの単位となる**スプリント**は**2週間を目安**に想定（設計、実装、テスト等）



NEXTSCAPE

お客様のビジョンに共感し、感動を実現します